

下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略

評価分析シート

平成31年度
(平成30年度実績)

【評価分析シート(例)】

総合戦略における基準値及び平成31年の最終目標値

平成31年の最終目標値達成に向けた各年度の目標値及び実績値

重要業績評価指標(KPI)	基準値	年度目標値					
		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
〇〇〇〇活用件数 (項目の説明)	1件	目標値	4件 (延4件)	4件 (延8件)	4件 (延12件)	4件 (延16件)	4件 (延20件)
	最終目標値	実績値	6件 (延6件)	4件 (延10件)	3件 (延13件)	4件 (延17件)	
	延20件	達成度	A	A	A	A	
1	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成30年度は、広報誌への掲載、ホームページの情報更新、PRチラシの配布など周知活動に力を入れた結果、年度目標の4件の活用があり、延17件となった。今後は、市内での活用事例の紹介などを行うなど、周知活動に継続的に取り組むとともに、制度の見直しなどを図りより利用しやすい制度にしていき、目標値達成に努める。					
	担当課	〇〇課					
	備考	【H28】目標値を延18件から延20件へ上方修正(目標値達成見込のため)					

【年度目標値】

目標値(平成31年度)達成に向けた各年度の目標値

【実績値】

各年度末での実績値(本年は平成30年度について記入)

【達成度】

年度目標値と実績値をもとにした各年度の達成度
 ※延数がある場合には、延数の年度目標値及び実績値により評価するものとする。

【平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組】

平成30年度の取組とそれに伴う実績値の分析、それらを踏まえて今後どのような取組を行うのかについて。

【備考】

過年度における修正内容、今年度における修正(案)などについて掲載。

達成度	評価基準
A	年度目標に対する進捗状況が 100%以上
B	年度目標に対する進捗状況が 80%以上、100%未満
C	年度目標に対する進捗状況が 50%以上、80%未満
D	年度目標に対する進捗状況が 50%未満
—	数値化できないもの
達成済	計画の策定や施設の整備など、過年度においてすでに目標値を達成したもの

$$\text{進捗状況} = \text{実績値} \div \text{年度目標値} \text{の数値}(\%)$$

※ただし、KPIの目標値が基準値より数値を下げる項目においては、
 $\text{年度目標値} \div \text{実績値} \text{の数値}(\%)$

基本目標① 「魅力的で安定した雇用を創出する」

数値目標	基準値	実績値				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
生産年齢人口の割合	63.9% (H27年における推計)	63.7%	63.4%	62.9%	62.7%	
【数値目標の説明】 少子高齢化が進行し、また市の人口が減少すると予測される中において、人口ビジョンの将来展望が示す生産年齢人口割合の維持を図る。	目標値	【平成31年3月末日】 (15歳以上65歳未満人口 37,581人) ÷ (下野市総人口 59,981人) = 62.7% ※栃木県毎月人口調査報告書(平成30年10月1日現在の数値)によると、栃木県全体では59.7%であり、下野市(62.3%)は県内4位である。				
	61.8%					

(ア) 商工業に躍進するまちづくり	商工業の活性化による魅力ある地域づくりを推進します。
-------------------	----------------------------

①商工業による躍進するまちづくり

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
1 制度融資新規活用件数	177件	目標値	200件	200件	200件	200件	200件
	最終目標値	実績値	130件	162件	179件	163件	
	200件	達成度	C	B	B	B	
平成30年度の実績と実績値の分析及び今後の取組	事業承継支援資金を創設し、制度融資の利便性向上を図った。市内金融機関向けの制度融資の説明会の開催や市内商工会総会時にパンフレットを配布するなど周知を図った。 今後も制度内容の見直しや広報活動を行い、活用促進を図っていく。						
担当課	商工観光課						
備考	【H30】平成28年度の実績値を162件に修正。						
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
2 空き店舗奨励金等活用件数 (空き店舗奨励金の活用件数)	2件	目標値	3件 (延3件)	3件 (延6件)	3件 (延9件)	3件 (延12件)	延15件
	最終目標値	実績値	2件 (延2件)	7件 (延9件)	2件 (延11件)	4件 (延15件)	
	延15件	達成度	C	A	A	A	
平成30年度の実績と実績値の分析及び今後の取組	空き店舗奨励金の認定件数は4件、交付件数は9件であった。従来のPRに加え、金融機関への協力依頼、まちなか商店リフォーム補助による相乗効果、地方創生の推進による新規開業意欲向上により実績が向上したと思われる。 今後もPRを続けるとともに、平成28年度から始まった創業塾を活用し、新規出店の意欲向上を図る。						
担当課	商工観光課						
備考							
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
3 企業交流会・講習会の開催回数 (工業団地内立地企業相互や市内産業連携につながる交流会の開催)	年1回	目標値	1回	1回	1回	1回	1回 (毎年開催)
	最終目標値	実績値	1回	1回	1回	1回	
	毎年開催	達成度	A	A	A	A	
平成30年度の実績と実績値の分析及び今後の取組	11月13日にモスフードサービス代表取締役である櫻田厚氏による「お客様を理解し、効率を捨てる経営」と題した講演会を開催したところ60名の参加があった。引き続き実施した交流会では38名の参加を得た。 なお、平成29年度より下野市に立地する企業及び関係機関が一体となり、連携を強化し、もって事業者の発展及び地域経済の活性化を図ることを目的に、市内87企業が参加した「下野市立地企業連絡協議会」を設立した。 今後もこの連絡協議会を中心に講演会・交流会などを通じて、交流を図っていく。						
担当課	商工観光課						
備考							

②新たな産業の誘致・育成

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
4	雇用奨励金活用件数 (市民居住労働者の雇用促進のための奨励金の活用件数)	1件	目標値	4件 (延4件)	4件 (延8件)	4件 (延12件)	4件 (延16件)	4件 (延20件)
		最終目標値	実績値	8件 (延8件)	0件 (延8件)	5件 (延13件)	7件 (延20件)	
		延20件	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成30年度は7件の実績があり、延20件となった。 今後も、広報・ホームページ・各種総会の際などの機会を活用し、制度のPRを行っていく。						
	担当課	商工観光課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
5	創業資金利用件数 (創業・女性企業家資金の活用件数)	7件	目標値	4件 (延4件)	4件 (延8件)	4件 (延12件)	4件 (延16件)	4件 (延20件)
		最終目標値	実績値	1件 (延1件)	6件 (延7件)	4件 (延11件)	3件 (延14件)	
		延20件	達成度	D	B	B	B	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成30年度は、創業資金が2件、女性企業家創業資金が1件であった。 平成28年度からの取り組みとして、「しもつけ創業塾」を開催し、新規開業の基礎知識習得機会を増やした。 なお、平成27年度以降の創業資金等利用者については、事業継続中である。						
	担当課	商工観光課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
6	事業所数 (工業統計事業所数)	113事業所	目標値	114事業所	115事業所	116事業所	117事業所	120事業所
		最終目標値	実績値	107事業所	112事業所	110事業所	110事業所	
		120事業所	達成度	B	B	B	B	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	新規事業所の立地できる土地がほとんどない状況で事業者数は横ばいであった。 新規事業者の立地のためにも、受け皿となる産業団地整備推進事業の推進を図る。						
	担当課	商工観光課						
	備考		【H30】平成28年度の実績値を107事業所から112事業所へ修正。					

③雇用・就業機会の拡充

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
7	ICT講座参加者数 (市独自のICT(情報通信技術)講座参加者数)	17人	目標値	20人 (延20人)	20人 (延40人)	20人 (延60人)	20人 (延80人)	20人 (延100人)
		最終目標値	実績値	33人 (延33人)	33人 (延66人)	31人 (延97人)	33人 (延130人)	
		延100人	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	ホームページやSNSを活用した事業所のPR力向上や、パソコンを活用した帳簿作成による効率化を目的に講座を開催している。平成30年度も、定員一杯の参加が得られた。 今後も、商工会に委託し実施する。						
	担当課	商工観光課						
	備考							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
8	技能検定合格者数 (技能検定特級、一級及び単一級の合格者数)	17人	目標値	25人 (延25人)	25人 (延50人)	25人 (延75人)	25人 (延100人)	25人 (延125人)
		最終目標値	実績値	22人 (延22人)	23人 (延45人)	28人 (延73人)	14人 (延87人)	
		延125人	達成度	B	B	B	B	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成30年度の表彰式では、平成29年度の合格者28人に対し行い、目標値を上回る人数を表彰した。 平成30年度の技能検定の合格者は前期10人、後期4人の合計14人であり、平成31年度中に表彰式を行う予定である。						
担当課	商工観光課							
	備考	【H29】指標を「表彰者数」から「合格者数」へ変更（年度単位で開催することとしたため）。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
9	近隣市町等との共催による合同説明会の開催	年1回	目標値	1回	1回	1回	1回	1回 (毎年開催)
		最終目標値	実績値	2回	2回	2回	2回	
		毎年開催	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	6月15日に「おやま地区大卒等合同企業説明会」を、3月8日に「大卒等合同企業説明会」を小山グランドホテルを会場に開催した。 今後も、小山地区雇用協会の一員として説明会を開催する。						
担当課	商工観光課							
	備考							

(イ) 地域の特性を活かした農業・農村づくり	魅力ある農畜産物の生産と効率的な経営による継続的な農業環境づくりを推進します。
------------------------	---

①都市近郊型農業の推進

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
10	新メニューの提供数 (市内農畜産物を利用した新メニューの延べ開発数)	—	目標値	2件 (延2件)	2件 (延4件)	2件 (延16件)	2件 (延18件)	2件 (延20件)
		最終目標値	実績値	2件 (延2件)	12件 (延14件)	14件 (延28件)	2件 (延30件)	
		20件	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成30年度は道の駅しもつけとタイアップし、「かんぴょうまつり」においてかんぴょう料理教室を開催し、2種類の新メニューの試作を行った。 今後も、地元農産物（ブランド）を使った新メニューの開発を行っていく。 また、引き続き産婦に対しては、乳幼児健診及び予防接種案内時にかんぴょう100gとかんぴょうレシピを渡し、PRを行っている。						
担当課	農政課							
	備考	【H29】目標値を10件から20件へ修正（農業公社での新メニューもカウントすることとしたため）。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
11	生産技術向上等講習会の開催 (市内農畜産物の生産技術向上と若手農業者育成のための講習会)	—	目標値	2回	2回	2回	2回	2回
		最終目標値	実績値	2回	3回	3回	3回	
		年間2回	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	認定農業者を中心とした生産者を対象に年間3回の講習会を実施した。 今後も経営部門に偏りがないよう工夫して、多くの生産者が参加できる講習会等を行っていく。						
担当課	農政課							
	備考							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
12	下野市地産地消応援団認定数 (下野市産農畜産物の利用促進に取り組む市内・市外の延べ事業所数)	47事業所	目標値	50事業所	53事業所	56事業所	58事業所	60事業所
		最終目標値	実績値	47事業所	51事業所	52事業所	52事業所	
		60事業所	達成度	B	B	B	B	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成30年度の実績は、前年と変わらずの52事業所であった。今後も事業の趣旨を十分説明し理解していただき認定事業所を増やしていく。					
担当課		農政課						
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
13	市内農産物直売所の販売額	8億円	目標値	8億 4000万円	8億 8000万円	10億 2000万円	10億 6000万円	11億円
		最終目標値	実績値	8億 9500万円	9億 4700万円	9億 5200万円	9億 3700万円	
		11億円	達成度	A	A	B	B	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成30年度の実績は、夏場の猛暑等による野菜の価格高騰により、前年比1500万円減となった。今後も引き続き消費者のニーズに合った品揃え等を行い販売額を増やしていく。					
担当課		農政課						
備考		【H29】目標値を10億円から11億円へ修正（目標値達成見込のため）。						

②農業経営の改善

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
14	地域の担い手となる認定農業者数 (農業経営の目標に向け、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画が認定された農業者数)	280人	目標値	286人	292人	298人	304人	310人
		最終目標値	実績値	287人	288人	291人	293人	
		310人	達成度	A	B	B	B	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成30年度の実績は、前年比2人増の293人となった。今後も認定農業者のメリット等の説明を十分に行い、新規認定を含め後継者との共同認定による人数増を図っていく。					
担当課		農政課						
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
15	新規就農者数（年間） (独立自営又は親元就農等で新たに農業を開始した農業者数)	8人	目標値	8人	8人	9人	9人	10人
		最終目標値	実績値	7人	7人	10人	11人	
		10人	達成度	B	B	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成30年度の実績は、前年比1人増の11人となった。新規就農希望者（特に若手）の掘り起こしについては、県農業振興事務所の取組と連携し相談に当たるなど、情報を共有して行っていく。					
担当課		農政課						
備考								

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
16	担い手の農地集積率 (市内耕地面積に対する認定農業者等の農地利用集積面積の割合)	40%	目標値	42%	44%	49%	50%	52%
		最終目標値	実績値	42%	48%	49%	50%	
		52%	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成30年度の実績は、前年比1%増の50%となった。目標値52%を達成するには更なる集積が必要になることから、今後も市農業公社と連携を図り、農地中間管理機構を活用した集積を積極的に進めていく。						
担当課	農政課							
備考		【H29】目標値を50%から52%へ修正(目標値達成見込みのため)。						

③農業生産基盤の整備

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
17	ほ場整備新規採択地区数 (県営ほ場整備(区画整理・水路・農道等の一体的な整備)事業の新規採択地区数)	—	目標値	—	—	新規1地区	—	—
		最終目標値	実績値	—	—	新規1地区	—	
		新規1地区	達成度	—	—	A(達成)	達成済	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	薬師寺・柴地区については、事業採択されたことから目標値については既に達成している。平成30年度は、事業採択を受けて柴地区の地区界確定作業を実施した。平成31年度は、残りの薬師寺地区の地区界確定作業を進め、換地原案を作成する。令和2年度からの面整備に着手できるように計画の進捗管理を行っていく。						
担当課	農政課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
18	農業水利施設の機能診断・保全計画策定数 (市内水利施設に係る長寿命化のための診断・保全計画の延べ策定数)	7か所	目標値	9か所	12か所	12か所	—	—
		最終目標値	実績値	9か所	12か所	12か所	—	
		12か所	達成度	A	A	A(達成)	達成済	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成28年度までに12カ所(幕田堰、関沢堰、成田堰、五千石堰、宮前堰、蟹川堰、上台用水堰、細谷堰、北河原堰、鯉沼堰、上吉田堰、関堀堰)の保全計画の策定が完了したため、目標値については既に達成している。そのうち北河原堰については平成24年度に改修が完了し、宮前堰については平成30・31年度の2か年で改修工事を行っている。また、平成31年度は蟹川堰河川応急実施計画の作成を予定している。						
担当課	農政課							
備考								

基本目標② 「東京圏からの新しいひとの流れをつくる」

数値目標	基準値	実績値				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
転入者数	2,319人	2,309人	2,276人	2,412人	2,339人	
【数値目標の説明】 合併以来9年間の転入者の平均が2,470人であるのに対し、直近の2年間は2,300人台で推移しているため、毎年度2%の転入者増を目標に、5年後、10%の転入者増を目指す。	目標値 2,550人	平成30年（1月～12月）の転入者数（日本人のみ）は2,339人であった。なお、転出者数（日本人のみ）は2,445人であり、106人の転出超過であった。 【外国人を含めた場合は、転入者数2,586人、転出者数2,575人で11人の転入超過となる。】				
数値目標	基準値	実績値				
東京圏からの転入者数	468人	479人	443人	455人	468人	
【数値目標の説明】 直近5年間の東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）からの転入者数を勘案し、東京圏からの転入者数を増加させることを目標とする。	目標値 510人	平成30年（1月～12月）の東京圏からの転入者数（日本人のみ）は468人で前年より増加した。なお、転出者数（日本人のみ）は674人であり、206人の転出超過であった。東京圏への転出超過が続いている状態である。				
数値目標	基準値	実績値				
観光入込客数	252万人	284万人	247万人	236万人	231万人	
【数値目標の説明】 市内観光施設・イベントへの来訪者数（観光庁の観光入込客数）。	目標値 277万人	平成30年（1月～12月）の観光客入込数は231万人で前年比97.9%であった。天平の花まつりは、21万1千人（前年比103.4%）と昨年より伸びたが、道の駅しもつけの入込数が186万5千人（前年比94.6%）と伸び悩んだため、全体では減となった。 【平成30年栃木県観光客入込数推定調査結果（平成30年1月～12月）より】				

（ア）快適に住み続けられる住環境・緑環境・交通環境・水環境づくり	JR3駅を中心としたコンパクトなまちづくりによる住みやすい環境づくりを推進するとともに、うるおいのある緑・水辺の環境づくり、人に優しい交通環境づくり、安全で快適な水環境づくりを推進します。
----------------------------------	--

①土地利用の推進

重要業績評価指標（KPI）	基準値	年度目標値					
		年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
19 立地適正化計画策定 （都市再生特別措置法の改正に伴い策定する「コンパクトなまちづくり」を進めるための計画）	—	目標値	—	策定開始	策定	策定完了	—
	最終目標値	実績値	—	策定開始	策定	策定完了	
	策定	達成度	—	A	A	A（達成）	
平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成26年の都市再生特別措置法の改正により、市町村が策定できるようになった計画で、地方都市においては、人口密度を維持してコンパクトシティ化を促進することを目的とする。居住誘導区域及び都市機能誘導区域を設定する立地適正化計画を策定し、平成31年3月29日に公表を行い目標値を達成した。						
担当課	都市計画課						
備考							
重要業績評価指標（KPI）	基準値	年度目標値					
20 土地区画整理事業整備面積 （事業費ベース進捗率による整備面積）	467ha	目標値	471.7ha	473.7ha	478.6ha	482.9ha	493ha
	最終目標値	実績値	469.3ha	473.7ha	476.3ha	477.3ha	
	493ha	達成度	B	A	B	B	
平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	仁良川地区土地区画整理事業区域において、道路築造・宅地造成・公園整備・物件移転補償などを実施した結果、前年度比1.0ha増の477.3haとなった。今後も目標値である493ha達成のため、引き続き居住環境の向上と良好な宅地の供給を図り目標達成に向けて事業促進を図っていく。						
担当課	区画整理課						
備考							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
21	地籍調査完了面積 (完了面積)	1.72 k m ²	目標値	2.19 k m ²	2.65 k m ²	4.98 k m ²	7.15 k m ²	8.01 k m ²
		最終目標値	実績値	2.19 k m ²	2.65 k m ²	5.48 k m ²	7.49 k m ²	
		8.01 k m ²	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成30年度は、新規地区調査及び認証遅延地区（7地区）解消と登記完了を目的とし取組んだ結果、5地区2.01 k m ² 完了したため実績値が上がっている。引き続き、2地区の認証遅延地区解消及び登記完了と新規・継続地区調査を計画的に進めていく。						
担当課	建設課							
備考								

②住環境の整備

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
22	新規住宅取得者家庭菜園整備及び定住促進住宅新築等補助件数 (対象要件を満たす家庭菜園整備及び定住促進住宅新築等補助の件数)	—	目標値	0件	10件 (延10件)	20件 (延30件)	20件 (延50件)	20件 (延70件)
		最終目標値	実績値	—	5件 (延5件)	8件 (延13件)	17件 (延30件)	
		延70件	達成度	—	C	D	C	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成30年度は家庭菜園整備5件、住宅新築等補助12件を実施した。目標値までは達成していないが事業の浸透は徐々に図られており実績が伸びている。平成31年度はすでに家庭菜園2件、住宅新築4件の申請が出ている状況である。制度周知のため、JOINなどのサイトへの周知や市内宅建業者への説明を実施しているが、今後とも制度推進のための効果的なPR方法を検討する。						
担当課	都市計画課							
備考		【H29】指標として「定住促進住宅新築等補助」を追加。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
23	生垣奨励金補助件数 (対象要件を満たす生垣設置に対する年間補助件数)	2件	目標値	5件	5件	5件	5件	5件
		最終目標値	実績値	3件	0件	0件	2件	
		5件	達成度	C	D	D	D	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	生垣奨励補助については、設置についての申請が2件であった。市内では、土地区画整理事業地内で生垣を設置している家が見受けられるので、制度の浸透を図るためのPR方法等を検討したい。また、住宅新築補助の利用者などへのセットでの利用の促進を図っていく。						
担当課	都市計画課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
24	木造住宅耐震診断及び耐震改修・建替補助件数 (木造住宅耐震診断事業・改修事業、耐震アドバイザー派遣事業の年間活用件数)	3件	目標値	4件	4件	4件	4件	4件
		最終目標値	実績値	1件	2件	8件	5件	
		4件	達成度	D	C	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年度から木造住宅耐震改修事業に耐震建替えについても補助対象となったため、徐々に実績が上がっている。引き続き制度の周知を図っていく。 【平成30年度実績数】 耐震アドバイザー派遣事業 0件 耐震診断事業 3件 耐震建替え 2件						
担当課	都市計画課							
備考		【H29】指標として「建替え補助」件数を追加。						

③公園・緑地・交通環境の整備、上下水道事業の推進

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
25	住民1人当たり 都市公園面積 (市内の都市公園合計面積を 市内人口で除した面積)	13.54㎡	目標値	13.54㎡	13.54㎡	13.54㎡	13.54㎡	16.53㎡
		最終目標値	実績値	13.54㎡	13.71㎡	15.26㎡	15.65㎡	
		16.53㎡	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値 の分析及び今後の取組	仁良川地区土地区画整理事業で設置した、近隣公園及び街区公園の供用を開始し、目標値に到達することができた。 平成31年度は、大松山運動公園の全面供用開始がされることで実績値が上がる予定である。						
	担当課	都市計画課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
26	新規公園整備・供用開始	—	目標値	—	—	新規1か所	—	—
		最終目標値	実績値	—	一部供用 開始	新規1か所	—	
		新規1か所	達成度	—	—	A (達成)	達成済	
	平成30年度の取組と実績値 の分析及び今後の取組	目標達成のため、平成30年度は取り組みは実施していない。 供用開始した公園は、今後も適正な維持管理を実施していく。						
	担当課	都市計画課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
27	公園施設長寿命化計画策定 (施設の健全度を把握する点 検調査、点検結果に基づく長 寿命化対策の計画書)	—	目標値	—	—	策定	—	—
		最終目標値	実績値	—	—	策定	—	
		策定	達成度	—	—	A (達成)	達成済	
	平成30年度の取組と実績値 の分析及び今後の取組	平成29年度に公園施設長寿命化計画の策定が完了しており、平成30年度は市独自に修繕計画 を策定し、補助事業その他の補完的な資料として活用している。 今後はこの修繕計画の見直しを毎年行い、公園施設の長寿命化を図っていく。						
	担当課	都市計画課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
28	道路改良率 (実道路延長に対する規格改 良済道路延長の割合)	64.0%	目標値	64.2%	64.4%	64.6%	65.3%	65.4% 65.6%
		最終目標値	実績値	64.5%	64.6%	65.2%	65.4%	
		65.4% 65.6%	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値 の分析及び今後の取組	一般市道、区画整理道路、農道等の整備の進捗により実績値が上昇した。年度目標値は達成したが、 既存道路の老朽化が著しいため、道路修繕にシフトせざるを得ない状況が予想されるため、今後の数値 の上昇は緩やかなものとなる。						
	担当課	建設課						
	備考	【H31：目標値修正（案）】目標値を65.4%→65.6%に修正（目標値達成のため）						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
29	道路舗装率	86.3%	目標値	86.5%	86.7%	86.8%	87.4%	87.5%
		最終目標値	実績値	86.7%	86.8%	87.3%	87.4%	
	(実市道延長に対する市道舗装済延長の割合)	87.5%	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	一般市道、区画整理道路、農道等の整備の進捗により実績値が上昇した。年度目標値は達成したが、既存道路の老朽化が著しいため、道路修繕にシフトせざるを得ない状況が予想されるため、今後の数値の上昇は緩やかなものとなる。						
	担当課	建設課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
30	上水道普及率	97%	目標値	97.12%	97.14%	97.16%	97.25%	97.27%
		最終目標値	実績値	97.12%	97.14%	97.23%	97.25%	
	(行政区域内人口に対する給水人口の割合)	97.27%	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	未加入世帯に対し加入促進パンフレットを作成し配布を行った結果、普及率の向上が図られ、県内トップクラスの普及率となっている。今後も引き続き加入促進を図っていく。						
	担当課	水道課						
	備考		【H28】 目標値を97.1%→97.2%に修正 (目標値達成のため) 【H30】 目標値を97.2%→97.27%に修正 (目標値達成のため)					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
31	下水道普及率	75.4%	目標値	76.1%	76.8%	77.5%	78.2%	79.1%
		最終目標値	実績値	75.8%	76.3%	76.8%	77.1%	
	(全体人口に対する下水道を利用できる人口割合)	79.1%	達成度	B	B	B	B	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	主に仁良川土地区画整理地内及び笹原祇園原地区の下水道整備を実施した結果、普及率の向上が図られた。今後も、下水道事業計画に基づき計画的に整備を進め、更なる普及率の向上に努める。						
	担当課	下水道課						
	備考							

(イ) 魅力あふれる『観光まちづくり』	「四季の自然と豊かな歴史・文化が薫る下野市」の環境をさらに磨いて、人が輝き、地域が輝くまちを創り、訪れた人がもう一度来たくなるまちを目指します。観光まちづくりを推進するため、観光プロモーションの推進、道の駅しもつけを核とした観光の創出、観光協会の充実・強化、観光施設の環境整備・充実に取り組みとともに、農商工連携等による下野ブランドの展開、新たな観光資源の開拓、広域観光の連携・推進に取り組みます。
---------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
32	下野市観光協会 HPアクセス数 (観光協会ホームページの年間アクセス数)	13万2千件	目標値	13万5千件	14万1千件	20万件	20万5千件	21万件
		最終目標値	実績値	17万3千件	19万3千件	24万4千件	33万6千件	
		21万件	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の実績と今後の取組の分析及び今後の取組	平成29年度末にホームページをリニューアルした。JR各社による「栃木デスティネーションキャンペーン」の実施やJR東日本の「大人の休日倶楽部」のポスターに女優の吉永小百合さんが起用されたことなどにより、アクセス数の増加があったものと思われる。今後は、より即時性のある情報の発信に努め、アクセス数の増加を図る。						
	担当課	商工観光課						
	備考	【H29】目標値を15万5千件→21万件へ修正（目標値達成のため）						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
33	道の駅しもつけ利用者数 (買い物等の市内外の年間利用者数)	260万人	目標値	264万人	268万人	272万人	276万人	280万人
		最終目標値	実績値	253万人	237万人	228万人	215万人	
		280万人	達成度	B	B	B	B	
	平成30年度の実績と今後の取組の分析及び今後の取組	各種イベントの実施による集客を図った。今後も利用者のニーズを考慮し、イベント等の実施により集客を図る。利用者が減少傾向にあるが、駐車場の慢性的な混雑や、県内外での道の駅の新設が原因と思われる。駐車場については、現在は拡張への制限があることから、今後対応を検討する。 なお、利用者数には市内の方が含まれるため観光入込客数とは人数が異なる。						
	担当課	商工観光課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
34	地産地消イベント開催回数 (道の駅しもつけでの地産地消イベントの年間回数)	4回	目標値	4回	5回	5回	6回	6回
		最終目標値	実績値	5回	5回	5回	5回	
		6回	達成度	A	A	A	B	
	平成30年度の実績と今後の取組の分析及び今後の取組	道の駅しもつけで7月と1月にかんびょうまつり、10月に大鍋まつり、11月に収穫祭、3月に創業祭を開催した。今後も事業の継続・新規開拓を図る。						
	担当課	商工観光課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
35	観光自転車利用者数 (市内5か所に設置したレンタサイクルステーションでの観光自転車年間利用者数)	632人	目標値	900人	1,000人	1,600人	1,900人	2,000人
		最終目標値	実績値	905人	1,469人	1,308人	1,639人	
		2,000人	達成度	A	A	B	B	
	平成30年度の実績と今後の取組の分析及び今後の取組	スタンプラリー等のイベント時に、電動アシスト付自転車を600円から300円に値下げしたところ、利用者増につながった。今後は、乗り出した場所とは異なるレンタサイクルステーションへの乗り捨てなど、新たなサービスの検討を行い、利用者増を図る。						
	担当課	商工観光課						
	備考	【H29】目標値を700人→2,000人へ修正（目標値達成のため）						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
36	オアシスポッポ館利用者数 (「オアシスポッポ館」の年間利用者数)	8,396人	目標値	8,577人	8,758人	8,938人	9,119人	9,300人
		最終目標値	実績値	9,619人	8,352人	8,023人	8,492人	
		9,300人	達成度	A	B	B	B	
	平成30年度の実績と実績値の分析及び今後の取組	夏休み期間(7/21)に観光協会の新規事業として「ポッポ館プチ縁日&ワークショップ」の開催やスタンプラリーのスタンプポイントに設定し、オアシスポッポ館の周知及び利用促進を図った。 今後も、様々なイベント等を通してオアシスポッポ館の利用促進を図る。						
担当課	商工観光課							
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
37	下野ブランド認定件数	24件	目標値	27件	30件	34件	37件	40件
		最終目標値	実績値	28件	32件	34件	34件	
		40件	達成度	A	A	A	B	
	平成30年度の実績と実績値の分析及び今後の取組	9月30日に「しもつけブランドフェア」を開催し、下野ブランドの周知を図った。 新規ブランド品の認定については、3件の申請があったが、認定には至らなかった。 今後、ブランドのあり方等について検討し、より下野市をPRできる特産品等の認定を図る。						
担当課	商工観光課							
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
38	本場結城紬展示会開催回数	年1回	目標値	1回	1回	1回	1回	1回
		最終目標値	実績値	1回	3回	2回	1回	
		毎年開催	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の実績と実績値の分析及び今後の取組	9月30日に開催した「しもつけブランドフェア」において、パネル展示を行った。 また、2月9日～10日に南河内公民館まつりで展示・実演・体験を行った。 今後も、南河内公民館まつりにて展示・実演・体験を行う。						
担当課	商工観光課							
	備考	【H29】事業の継承が難しい状況に鑑み、より適切な項目のKPIとするため、「雇用・就業機会の拡充」という項目から、「魅力あふれる『観光まちづくり』」の項目へと移動(No11→No39)。						

(ウ) 交流の促進とシティプロモーションの推進	都市部住民と農村部住民の交流を促進し地域活性化を図るとともに、本市の強みである充実した自然環境・交通環境・居住環境・医療環境などの住みよさ及び魅力を市内外に発信することにより本市への新たな人の流れをつくるために、新たな交流拠点の整備及び更なる交流促進のための事業展開を図るとともに、パーソナルロボットを導入・活用しシティプロモーション事業等をより積極的に展開します。
-------------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
39	パーソナルロボットイベント参加回数 シティプロモーション活動を伴うイベント参加回数 (東京圏を中心に行うイベントへの参加回数)	—	目標値	5回 (延5回)	10回 (延15回)	12回 (延27回)	12回 (延39回)	延50回以上
		最終目標値	実績値	4回 (延4回)	12回 (延16回)	12回 (延28回)	14回 (延42回)	
		延50回以上	達成度	B	A	A	A	
	平成30年度の実績と今後の取組の分析及び今後の取組	平成30年度は、東京圏において移住セミナーやアニメイベントへ出展し、シティプロモーション活動を行った。また、県の週末インターンシップ事業や若者交流事業に参加し、トークイベントのゲストとして下野市の若者を招くことで、より効果的なPR活動を実施した。平成31年度も引き続き、庁内各課及び関係団体と連携し、市のPRを実施する。また、小山地区定住自立圏など地域間での連携を図り、広域エリアとしてのPRにも取り組んでいく。なお、平成30年11月をもって、パーソナルロボットの3年間の継続契約が終了し、PR効果等を考慮した結果、更新をしなかったため、本指標を「シティプロモーション活動を伴うイベント参加回数」へ変更する。						
担当課	総合政策課							
	備考	【H31：指標修正(案)】パーソナルロボットの契約終了に伴い、「パーソナルロボットイベント参加回数」から「シティプロモーション活動を伴うイベント参加回数」へ変更する。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
40	都市農村交流施設整備数 (石橋地区に開設予定の施設整備数)	—	目標値	—	新規1か所	新規1か所	—	—
		最終目標値	実績値	—	新規1か所	新規1か所	—	
		新規1か所	達成度	—	A	A(達成)	達成済	
	平成30年度の実績と今後の取組の分析及び今後の取組	石橋地区都市農村交流施設(ゆうがおパーク)が整備され目標値は達成済みである。今後も農産物直売、加工品の販売、体験農園活動、各種イベントを通し、都市住民(消費者)との交流を図っていく。						
担当課	農政課							
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
41	体験農園の設置数	1か所	目標値	1か所	2か所	—	—	—
		最終目標値	実績値	1か所	2か所	—	—	
		2か所	達成度	A	A(達成)	達成済	達成済	
	平成30年度の実績と今後の取組の分析及び今後の取組	市民農園及び石橋地区都市農村交流施設(ゆうがおパーク)の2か所に設置し、目標値は達成済みである。今後も引き続き2か所の施設を軸として体験農園を行っていく。						
担当課	農政課							
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
42	農産物加工体験施設の設置数 (農産物加工センター等の設置数)	3か所	目標値	3か所	4か所	4か所	4か所	4か所
		最終目標値	実績値	3か所	4か所	4か所	4か所	
		4か所	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の実績と今後の取組の分析及び今後の取組	既存の3加工センターに加え石橋地区都市農村交流施設(ゆうがおパーク)の4か所に設置済みである。今後も引き続き4か所の施設を軸として農産物の加工体験を行っていく。						
担当課	農政課							
	備考							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
43	体験農園のイベント開催回数	1回	目標値	2回	3回	3回	3回	3回
		最終目標値	実績値	3回	5回	4回	5回	
		3回	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成30年度は、市民農園及び石橋地区都市農村交流施設（ゆうがおパーク）において、里芋の収穫、田植え、稲刈り、大根掘りなどの体験イベントを行った。今後も引き続き市民のニーズに合った体験プログラムを取り入れ実施していく。						
担当課	農政課							
備考								

基本目標③ 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

数値目標	基準値	実績値				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
下野市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合	95.4%	95.5%	96.9%	96.9%	96.30%	
【数値目標の説明】 乳幼児健康診査のアンケート調査において実施。	目標値	平成30年度も目標値を上回る結果であった。 ※乳幼児健康診査のアンケート調査における「この地域で、今後も子育てをしていきたいですか」という問いに対して「そう思う」もしくは「どちらかといえばそう思う」と回答した割合。				
	96.0%					
数値目標	基準値	実績値				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
合計特殊出生率	1.41	—	—	—	—	
【数値目標の説明】 人口ビジョンの将来展望の短期的目標で示した合計特殊出生率の向上を目指す。	目標値	平成30年の人口動態統計（概数）における合計特殊出生率（厚生労働省） 全国平均1.42 栃木県1.44（全国32位） 【平成29年 全国平均1.43 栃木県1.45（全国34位）】				
	1.60					

(ア) 子どもを健やかに産み育てる環境整備	子どもが健やかに成長し、生涯を通じて健康に過ごすためには、出産前からの支援と出産後の早期からの相談や健診の充実など、妊産婦や子育て中の保護者を地域で見守り、支える環境整備を推進します。
-----------------------	--

①妊娠・出産への支援

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
44	両親学級参加率	45.0%	目標値	47.0%	50.0%	55.0%	58.0%	60.0%
	(妊娠・出産・育児等に関する学級の妊婦と家族の参加率)	最終目標値	実績値	45.70%	58.7%	60.1%	59.3%	
		60.0%	達成度	B	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成30年度に本市で赤ちゃん訪問を受けた市民の産婦（459名）のうち、これまでに市または病院で両親学級に参加した人は59.3%(272名)であった。また、市主催の両親学級の父親参加率は40.8%であった。今後も達成度を維持すべく参加への呼びかけに努めていきたい。						
	担当課	健康増進課						
	備考	【H28】 指標を「参加数」から「参加率」へ変更（目標値を280組から60.0%へ変更）。 【H29】 今回または前回の妊娠中に市または病院の両親学級に参加した人を本市で赤ちゃん訪問を受けた市民の産婦数で除した数。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
45	不妊治療助成件数	100件	目標値	102件	104件	106件	108件	110件
	(保険対象外となる不妊治療及び不育症治療を受けた方への治療費の一部助成の年間件数)	最終目標値	実績値	125件	123件	127件	119件	
		110件	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	前年度より8件の減となるが、年度目標値を超えており達成度は維持されている。特定不妊治療については、県の助成制度と所得や居住地の要件に差異があるものの、対象治療内容が同一であるため、相談の際に県の助成も含めた説明を求められる機会が多い。県の制度も含め、不妊治療医療機関を通じ当該助成制度の利用が定着している。今後も引き続き治療を受けようとしている方に対し、制度周知を図る。						
	担当課	健康増進課						
	備考							

②子どもや母親の健康の確保

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
46	乳幼児健康診査対象児の状況把握の割合 (乳幼児健康診査対象児の受診促進及び未受診者の状況把握)	100%	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
		最終目標値	実績値	100%	100%	100%	100%	
		100%	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	乳幼児健診受診率98.9%で、乳幼児健診未受診は、児童虐待のリスク要因となるため未受診者に対しては、電話や家庭訪問などで養育状況を個別に確認する取組みを行っている。対象者の中には、超未熟児出生や身体的疾患のために長期入院中であったり、住基登録のまま海外居住をしている乳幼児も少なくなかった。いずれにしても、未受診者の把握は、医療機関、保護者、親族、保育施設などの関係機関より確認が取れており、全数把握ができています。 さらに、乳幼児健診は各自体によって対象月齢に差異があるため、転入者に対しては、転入手続きの際に母子手帳の確認を行い、必要時乳幼児健診の受診勧奨を行い、受診の確認を行っている。今後も達成度を維持すべく現在の取組みを継続していく。						
担当課	健康増進課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
47	任意予防接種助成制度新規事業数 (任意予防接種における市独自助成制度事業数)	—	目標値	2	1	—	1	—
		最終目標値	実績値	2事業開始	1事業開始	—	1事業開始	
		新規2事業	達成度	A	A	—	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成30年度は小児インフルエンザ予防接種の助成を実施し、5,902件接種率47.8%（1人2回接種とした場合）の実績であった。小山地区管外の接種費用が安い医療機関の利用が多く、償還払い件数が443件に上った。ほかに、おたふくかぜワクチンの第2期接種の助成開始について検討を進め、平成31年度から実施することとした。今後は、利用者の利便性向上を図るため、償還払い件数が多い医療機関に対し個別に委託契約締結を行う。						
担当課	健康増進課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
48	保育園・幼稚園等での食育教室実施回数 (下野市食育推進計画に基づく実施箇所数)	8か所	目標値	9か所	9か所	10か所	10か所	10か所
		最終目標値	実績値	16か所	16か所	18か所	17か所	
		10か所	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成30年度は、乳幼児対象189名、学童333名、保護者対象140名に保育園等で食育啓発活動及びアンケートを実施した。教室に参加して、参考になったことと、実践できることの数値が近かったことは、参加者の生活に沿ったアドバイスが実施できていたと評価できる。平成31年度も引き続き食育活動を実施していくとともに、参加者の生活を意識したアドバイスができるように、施設関係者と協力して実施していきたい。						
担当課	健康増進課							
備考								

③育児不安の軽減と虐待防止への支援

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
49	こんにちは赤ちゃん全戸訪問事業・把握率 (生後4か月までの子どもを持つ家庭への助産師・保健師の訪問及び状況把握)	100%	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
		最終目標値	実績値	100%	100%	100%	100%	
		100%	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	【こども福祉課】 訪問対象者数に対する把握率で、訪問拒否や入院中で訪問できなかったケースもあるが、養育状況は確認できているため全ケース把握している。そのため、ハイリスクなケースについては、早期に介入できており適切な支援につなげられている。 【健康増進課】 子育て包括支援センターが設置され妊娠中からの情報を訪問助産師に提供し、訪問結果の支援に対しても切れ目ない支援が実施できている。						
担当課	こども福祉課 健康増進課							
備考								

(イ) 心身ともに健やかな子どもの育ちを支える取組の推進	市民一人ひとりが自分を大切に思い、人を大切に思う心を育み、また、自分がかげがえのない存在であることを実感するなど、次代の親としての成長を支援する取組を推進します。
------------------------------	---

①思春期の心身の健康づくり

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値						
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	
50	思春期講座開催小中学校数 (関係機関が連携した小中学校での思春期講座の開催)	—	目標値	15小中学校	15小中学校	15小中学校	15小中学校	15小中学校 14小中学校	
		最終目標値	実績値	15小中学校	15小中学校	15小中学校	15小中学校		
		15小中学校 14小中学校	達成度	A	A	A	A		
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成30年度は市内小中学校は全部で16校であるが、小規模校2校は隔年実施のため全校実施の場合は15校となる。学習目標は変わらないが、小中学生を取り巻く環境の変化に合わせて講座実施時に使用する媒体などを検討していきたい。							
	担当課	健康増進課							
	備考	【H30】国分寺西小学校が平成31年度に国分寺小学校に統合され、市内全学校数が15小中学校になるため、目標値を16小中学校から15小中学校へ変更。 【H31：目標値修正(案)】市内学校数が15小中学校になり、内1校が隔年実施となるため全校実施の場合は14校となる。							

②豊かな子どもをはぐくむ地域力の向上

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値						
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	
51	児童館利用者数 (児童館の年間利用者数)	30,061人	目標値	30,500人	30,750人	31,000人	31,500人	31,500人	
		最終目標値	実績値	25,632人	26,192人	25,870人	30,046人		
		31,500人	達成度	B	B	B	B		
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	「地域とともに歩む児童館」として3世代交流や地域内の交流を推進する事業に取組んできた。今後も、地域と密着した児童館の定着に努め、身近な子育て支援施設として推進を図っていく。							
	担当課	こども福祉課							
	備考								

③親育ちへの支援

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値						
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	
52	両親学級参加率 (再掲：44) (妊娠・出産・育児等に関する学級の妊婦と家族の参加率)	45.0%	目標値	47.0%	50.0%	55.0%	58.0%	60.0%	
		最終目標値	実績値	45.70%	58.7%	60.1%	59.3%		
		60.0%	達成度	B	A	A	A		
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	母子手帳発行時の窓口案内のみでなく、妊娠期からのフォローを要する妊婦に対しては電話等で参加勧奨を行った。 子育て世代包括支援センターが設置されたことにより、個別的な支援が可能となるため引き続き安心した子育てを行うことができるよう、妊婦や家族が自らの産後について具体的に考える時間を導入していく方針である。							
	担当課	健康増進課							
	備考	【H28】指標を「参加数」から「参加率」へ変更(目標値を280組→60.0%へ変更) 【H29】今回または前回の妊娠中に市または病院の両親学級に参加した人を本市で赤ちゃん訪問を受けた市民の産婦数で除した数。							

(ウ) すべての子育て家庭を応援する体制の充実	利用者の視点に立ってきめ細やかなサービスの提供・確保はもとより、母親だけでなく父親も仕事と子育てが両立できる環境づくりを推進し、また、それらの支援等を必要とする人が、適切にサービス等を利用できるよう、情報提供や交流、相談支援等を通じた周知・啓発に取り組みます。
-------------------------	--

①教育・保育及び子育て支援事業の充実

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
53	放課後児童クラブ 実施箇所数	13か所	目標値	13か所	13か所	13か所	14か所	14か所
		最終目標値	実績値	13か所	13か所	13か所	13か所	
		14か所	達成度	A	A	A	B	
	平成30年度を取組と実績値の分析及び今後の取組		平成30年度は国分寺地区の利用者の増加に対応するため、駅西児童館の増改築により保育室の充実に努めた。また、平成31年4月から国分寺小体育館ミーティングルームを利用するため、空調設備などを整備した。 今後は、国分寺西小学校の閉校及び南河内中学校地区の義務教育学校整備に伴う学童保育室の在り方について検討していく。					
担当課		こども福祉課						
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
54	待機児童数 (入所要件を満たすにもかかわらず施設に入所できない児童の数)	1人	目標値	0人	0人	0人	0人	0人
		最終目標値	実績値	1人	0人	0人	3人	
		0人	達成度	B	A	A	B	
	平成30年度を取組と実績値の分析及び今後の取組		平成30年4月1日時点で3名の待機児童が発生した。加配を要する児童に対して職員配置ができない等、保育士の不足が待機児童発生につながった。平成31年度は薬師寺幼稚園が認定こども園になり、保育部分の受け皿が増加した。また、薬師寺保育園が民営化され、公立保育所での保育士不足解消につながるものと考えている。今後も保育士の確保並びに施設整備等による保育の受け皿の確保を推進し、待機児童の減少に努める。					
担当課		こども福祉課						
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
55	認定こども園数 (教育・保育を提供する機能を併せ持つ施設の数)	4か所	目標値	4か所	5か所	5か所	6か所	6か所
		最終目標値	実績値	4か所	5か所	5か所	5か所	
		6か所	達成度	A	A	A	B	
	平成30年度を取組と実績値の分析及び今後の取組		平成30年度より認定こども園に移行予定だった薬師寺幼稚園であるが、増築工事が延期となったため平成30年度は目標値に届かなかった。薬師寺幼稚園は平成31年度より認定こども園に移行するため、最終目標の6施設を達成できる見込みである。					
担当課		こども福祉課						
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
56	休日保育事業実施園数	1か所	目標値	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
		最終目標値	実績値	2か所	2か所	2か所	1か所	
		2か所	達成度	A	A	A	C	
	平成30年度を取組と実績値の分析及び今後の取組		むつみ愛泉こども園では平成29年度において休日保育の実績がなかったため、平成30年度より事業を廃止し、実施園はあおば保育園1園であった。市民のニーズに対しては、十分な保育が実施できている。 今後も、市のホームページや入園案内、子育てハンドブック等での周知を行い、利用者のニーズを的確に把握しながら事業を実施していく。					
担当課		こども福祉課						
備考								

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
57	夜間保育事業実施園数	—	目標値	—	—	—	—	1か所
		最終目標値	実績値	—	—	—	—	
		1か所	達成度	—	—	—	—	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		夜間の預かりについては、ファミリー・サポート・センターの利用により対応している。引き続き利用者のニーズの把握に努める。					
担当課		こども福祉課						
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
58	乳児保育事業実施園数	12か所	目標値	12か所	13か所	13か所	13か所	13か所
		最終目標値	実績値	12か所	13か所	13か所	13か所	
		13か所	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成30年度は薬師寺幼稚園の保育所部分を整備し、認定こども園への移行を円滑に進めた。平成31年度には認定こども園化した薬師寺幼稚園を加え14か所となる。待機児童数の減少にも直結するため引き続き市民のニーズに応えられるように努めていく。					
担当課		こども福祉課						
備考								

②子育てに関する情報・相談・交流の充実

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
59	児童館の整備箇所数	—	目標値	—	—	—	—	1か所
		最終目標値	実績値	—	—	—	—	
		1か所	達成度	—	—	—	—	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成28年度に石橋児童館の老朽化に伴う閉館のため、こどもの広場いしばしを開設して対応している。今後は、下野市石橋駅周辺公共用地利活用基本計画等に基づき、関係部署と協議を進める。					
担当課		こども福祉課						
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
60	子育て応援HP「ママフレ」アクセス数 (「ママフレ」の年間アクセス数)	22,400件	目標値	22,840件	23,280件	23,720件	24,160件	24,600件
		最終目標値	実績値	18,224件	15,858件	11,536件	9,896件	
		24,600件	達成度	B	C	D	D	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		子育てに関する情報発信の1つとして「ママフレ」を活用し、市の子育て支援事業の情報提供を行った。市ホームページにバナーを貼る、安心子育てハンドブックにQRコードを載せる、乳幼児健診時にチラシを配付するなどの周知を図った。平成30年度のアンケート結果では認知度は低かった。近年のマイナンバーを利用した子育て支援モデル等の新たな展開があることから、「ママフレ」専用の電子母子手帳や予防接種記録管理アプリの導入は見送り、無償版の範囲内で更なる周知に努める。次期計画では、情報発信の指標について、より時勢にあった媒体や方法を検討したい。【参考：下野市メール配信サービス配信登録者数(医療・福祉)】平成29年度：1,347件 平成30年度：1,362件 平成31年度(目標)1,450件					
担当課		こども福祉課						
備考								

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
61	利用者支援事業実施箇所数 (子ども・子育て支援に関する相談援助、情報提供を行う窓口設置箇所数)	—	目標値	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
		最終目標値	実績値	1か所	1か所	2か所	2か所	
		1か所	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の実績と実績値の分析及び今後の取組	<p>【こども福祉課】 子育て支援センターや児童館、乳幼児健診会場や認定こども園等での親子教室に出向き利用者支援事業の周知や市民からの情報収集に努めた。また、窓口での入園相談や待機児童の保護者へのフォローを実施した。</p> <p>【健康増進課】 母子保健事業の中で子育て施設や入園に関する相談もあるため、今後は2か所の利用者支援事業がより連携しながら情報提供に努めていきたい。</p>						
担当課	こども福祉課 健康増進課							
備考								

②ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた支援

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
62	職場での男女平等について、募集や採用において「平等になっている」と回答する人の割合 (男女共同参画プラン策定時アンケート調査において実施)	51.9%	目標値	—	—	—	—	57.0%
		最終目標値	実績値	—	—	—	—	
		57.0%	達成度	—	—	—	—	
	平成30年度の実績と実績値の分析及び今後の取組	平成31年度(9月)に市民アンケート調査を実施予定(プランの改訂にあわせて)。						
担当課	市民協働推進課							
備考								

(エ) 多様な「出会い」の支援	コミュニケーションスキル等の学習の場を提供するとともに、市民団体等と連携し、「出会い」の場の創出・支援に取り組めます。
-----------------	---

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
63	婚活に関する スキルアップ事業数 (生涯学習による婚活支援事業数)	—	目標値	—	—	1事業	1事業	1事業
		最終目標値	実績値	—	—	1事業	1事業	
		1事業	達成度	—	—	A	A	
	平成30年度の実績と実績値の分析及び今後の取組 担当課 生涯学習文化課 備考	コミュニケーション力を向上することを目的として「自分魅力アップセミナー」を実施した。「コミュニケーション」「きく姿勢」「雑談力を上げる」というテーマで計3回開催した。延べ31名の参加があり(男性19名、女性12名)、参加者からは「自分の価値観を広げようと思うきっかけとなった」など概ね好評であった。今後はより参加者が集まるよう、工夫を凝らしながら実施していく。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
64	婚活支援事業数 (市民が主体となり実施する婚活イベント等事業数)	1事業	目標値	2事業	3事業	3事業	3事業	3事業
		最終目標値	実績値	2事業	3事業	3事業	3事業	
		3事業	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の実績と実績値の分析及び今後の取組 担当課 市民協働推進課 総合政策課 備考	【市民協働推進課】2事業 ①石橋ライオンズクラブ 引き続き、市民活動補助事業制度の周知を図り、利用増を目指します。 ②小山定住自立圏共催事業として婚活イベント(セミナー、参加者交流会) 11/18開催 39名参加(下野市民男女4名含む)平成31年度も開催見込 【総合政策課】1事業 下野市・上三川町・壬生町連携会議において、新たな人の流れを生み出す1市2町連携プロジェクト事業として、連携婚活バスツアーを3回実施した。 また、カップル成立した人を対象とした進展具合等を問うアンケート調査を実施し、事業の効果検証をした。						

基本目標④ 「安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる」

数値目標	基準値	実績値				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
幸せだと感じている市民の割合	75.0%	—	—	—	—	
【数値目標の説明】 市民意識調査における「幸福感」の項目で、幸せだと感じていると回答した人の割合。	目標値	意識調査は平成31年度実施予定				
	78.0%					
数値目標	基準値	実績値				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
住みやすいと感じる市民の割合	84.0%	—	—	—	—	
【数値目標の説明】 市民意識調査における「下野市について」の項目で、住みやすい・どちらかといえば住みやすいと回答した人の割合。	目標値	意識調査は平成31年度実施予定				
	87.0%					

(ア) いきいき暮らせる健康づくり	充実した医療環境を活かし、市民一人ひとりが健康に暮らせるまちづくりのため、各種がん検診や、保健福祉センター（きらら館・ゆうゆう館）、福祉センター（ふれあい館）を活用した事業などを総合的に展開した予防対策を積極的に推進し、また良好な救急医療体制を維持確保するため、一次・二次・三次の機能分化を促進するとともに「かかりつけ医」の普及啓発を推進します。
-------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
65 がん検診の受診率 (子宮頸がんを除く) (各種がん検診(胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん)の受診率)	35.7%	目標値	38.0%	41.0%	43.0%	47.0%	50%以上 (乳がん60%以上)
	最終目標値	実績値	38.0%	40.9%	41.1%	42.7%	
	50%以上 (乳がん60%以上)	達成度	A	B	B	B	
	平成30年度の実績値の分析及び今後の取組	受診率は、胃がん20.5%、肺がん53.0%、大腸がん53.6%、乳がん(40歳以上)37.8%、乳がん(35~39歳)48.4%で、がん検診全体では42.7%の受診率であった。前年度から受診率は増加しているが目標値に届かなかった。今後は受診勧奨の方法を検討するなど目標値を達成できるよう努めていきたい。					
担当課	健康増進課						
	備考						
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
66 健康づくり施設利用者数 (ゆうゆう館・きらら館・ふれあい館の年間利用者数)	25万8千人	目標値	25万8千人	26万5千人	27万3千人	28万人	28万8千人
	最終目標値	実績値	29万5千人	30万1千人	29万2千人	28万8千人	
	28万8千人	達成度	A	A	A	A	
平成30年度の実績値の分析及び今後の取組	ふれあい館は平成29年度の改修工事が完了し、通常営業となり利用者が増加した。きらら館の利用者数も前年度より増加した。ゆうゆう館は一部改修工事を実施していたことから、利用者数が前年度より減となり、全体では前年度実績を下回ったが目標値は超えている。今後も指定管理者と連携しながら利用者増に努める。						
担当課	社会福祉課	■延べ利用者数 ゆうゆう館 137,746人 ふれあい館 102,007人 きらら館 48,194人					
	備考						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
67	健康づくりへの取組の満足度	4	目標値	—	—	—	—	5
		最終目標値	実績値	—	—	—	—	
	(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	5	達成度	—	—	—	—	
	平成30年度の実績値の分析及び今後の取組	平成30年3月に策定した、「健康しもつけ21プラン（第3次下野市健康増進計画）」の重点目標「脳血管疾患の罹患者を減らす」を達成するため、健康推進員養成講座の開催、健康マイレージ事業、健康づくり基礎教室、運動基礎教室、アクアサイズ教室等の各種健康教室を実施した。健康マイレージ事業については、平成30年度452名の方が参加し、平成29年度（326名）より126名増加した。平成31年度の達成度がAとなるよう、今後も継続して各種教室への参加呼びかけに力を入れていきたい。						
担当課	健康増進課							
備考								

(イ) 高齢者が元気で暮らせる体制づくり	高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らすことができるまちづくりを推進するため、自分らしい暮らしを人生の最後まで安心して続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指すとともに、高齢者が生きがいを持って地域社会とかわかることができるよう、介護予防や生活支援を推進し、介護サービス基盤の整備を進め、心身の状況や生活環境に応じたサービスの充実を図ります。
----------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
68	地域ふれあいサロンの設置数	14か所	目標値	16か所	17か所	19か所	28か所	34か所 52か所
		最終目標値	実績値	14か所	16か所	26か所	40か所	
	(地域ボランティアによる地域ふれあいサロン)	34か所 52か所	達成度	B	B	A	A	
	平成30年度の実績値の分析及び今後の取組	介護予防につながる下野元気はつらつ体操の普及に伴い、元気はつらつ体操を活動の中心としたサロンの立上げが多くみられた。また、以前から活動していた地域住民による体操や趣味の集いを地域限定しないオープンな体制とすることでサロン化する場合も多くみられたことにより目標を大きく上回る設置数となった。 今年度より下野市社会福祉協議会への委託業務となり、ボランティアセンター等と連携を図ることにより既存サロンの活動の支援や内容の充実を図っていくほか、地域のニーズに合わせた新規のサロン開設の支援を行っていく。						
担当課	高齢福祉課							
	備考	【H30】高齢者保健福祉計画（第7期：平成30年度～平成32年度）にあわせ、目標値を23か所から34か所へ修正。 【H31：目標値修正（案）】目標値34か所→52か所へ修正（目標値達成のため）						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
69	認知症地域支援推進員の配置数	1か所	目標値	3か所	4か所	4か所	4か所	4か所
		最終目標値	実績値	3か所	4か所	4か所	4か所	
	(基幹型を含む各地域包括支援センターへの配置)	4か所	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の実績値の分析及び今後の取組	平成30年度は、市内3か所の地域包括支援センター職員及び基幹型包括支援センター職員計6名が認知症地域支援推進員研修(新任・現任)を受講した。その結果、各地域包括支援センターの職員11名と基幹型包括支援センター職員3名の計14名が地域支援推進員として配置されている。今後も、研修受講については継続していく。 認知症地域支援推進員会を定例的に開催し、市の認知症施策の課題を明確化し、その対策を検討している。						
担当課	高齢福祉課							
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
70	認知症サポーター数	2,085人	目標値	660人 (延2,745人)	670人 (延3,415人)	1,020人 (延6,000人)	1,000人 (延7,000人)	800人 (延7,800人) 1,000人 (延8,800人)
		最終目標値	実績値	1,513人 (延3,628人)	1,352人 (延4,980人)	1,129人 (延6,109人)	1,772人 (延7,881人)	
	(認知症サポーター養成講座の延べ参加者数)	延7,800人 延8,800人	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の実績値の分析及び今後の取組	平成30年度は、市民をはじめ、小中学校、市内高校や大学、自治会等に対し認知症サポーター養成講座を実施した。その結果、計32回開催し、1,772名の認知症サポーターが新たに誕生し、延べ7,881名となった。また、希望者を対象に「認知症ステップアップ講座」を開催、認知症グループホームでの体験実習等も実施し、修了者は「シルバーサポーター」として登録、市の認知症施策のボランティアとして認知症カフェ(オレンジカフェ)等で活動していただいている。						
担当課	高齢福祉課							
	備考	【H28】目標値延4,000人→延5,455人へ修正（目標値達成見込みのため） 【H29】目標値延5,455人→延7,600人へ修正（目標値達成見込みのため） 【H30】目標値延7,600人→延7,800人へ修正（目標値達成見込みのため） 【H31：目標値修正（案）】目標値延7,800人→延8,800人へ修正（目標値達成のため）						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
71	高齢者福祉の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	3	目標値	—	—	—	—	4
		最終目標値	実績値	—	—	—	—	
		4	達成度	—	—	—	—	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	第7期下野市高齢者保健福祉計画に基づき「みんなで支え合い安心して暮らせる健やかなまちづくり」を目指し、進捗管理をしながら各事業を推進している。						
担当課	高齢福祉課							
備考								

(ウ) 障がい者(児)とともに生きる環境づくり	障がい者(児)が地域で自立した生活を送ることができる環境づくりを推進するため、障がいのある人の相談の場の確保、日常生活や地域生活の支援などの充実を図るため、障害福祉サービス事業所との連携を強化します。また、育成医療、更生医療などの自立支援医療の給付や重度心身障がい者(児)医療費助成を引き続き実施します。さらに障がいのある児童については、個々の障がいの状況や特性に応じた適切な療育や保護者への総合的な相談を行うとともに、保育、幼稚園及び学校関係との連携による支援の充実を図ります。 障がいのある人が不当な差別的取扱に受けることがないよう合理的な配慮をしていくとともに、下野市障がい者福祉計画に基づき、障がいのある人もない人とともに生きる環境の実現を目指します。
-------------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
72	指定特定相談支援事業所数	5か所	目標値	5か所	6か所	7か所	7か所	7か所
	(障がい者(児)が福祉サービスを利用するため利用計画作成等の支援を行う相談支援事業所)	最終目標値	実績値	5か所	5か所	5か所	8か所	
		7か所	達成度	A	B	C	A	
	平成30年度の実績と今後の取組の分析及び今後の取組	平成30年4月より、社会福祉協議会など新たに2か所の相談支援事業所が設立され、また、平成31年1月より、障がい児への相談支援事業所が1か所設立され、障がい児者への相談支援体制の充実が図られた。今後も相談支援体制が強化されるよう、各法人や事業所へ働きかける。						
	担当課	社会福祉課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
73	就労系サービス利用者数	93人/月	目標値	137人/月	140人/月	140人/月	158人/月	170人/月
	(就労移行支援、就労継続支援(A型)、就労継続支援(B型)の年間実利用者の月平均人数)	最終目標値	実績値	147人/月	148人/月	148人/月	142人/月	
		170人/月	達成度	A	A	A	B	
	平成30年度の実績と今後の取組の分析及び今後の取組	市障がい者相談支援センターを中心に、各就労支援機関と連携を図り、就労支援事業利用希望者の適切なサービス利用に向けた支援を実施した。また、市内及び市近隣企業に対し実施した、発達障がい・精神障がいの理解を促す講座の中で、市内就労支援施設の支援取組事例を紹介した。引き続き、利用に向けた支援を行うとともに、利用する障がい者の一般就労を促すため、関係機関との連携を図る。						
	担当課	社会福祉課						
	備考		【H30】第5期下野市障がい者福祉計画との整合性を図り、目標値を140人/月から170人/月へ修正。					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
74	障がい者福祉の取組の満足度	3	目標値	—	—	—	—	4
	(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1~5の数値で数値化したもの)	最終目標値	実績値	—	—	—	—	
		4	達成度	—	—	—	—	
	平成30年度の実績と今後の取組の分析及び今後の取組	市障がい者相談支援センターを市役所建物内(社会福祉課内)に移設し、市とセンターの相談支援体制の整備を行うなど、相談支援・情報提供体制の充実を図った。また、たんの吸引など日常的に医療的ケアが必要な児童への支援について協議する場を新たに設け、関係機関との連携強化を図った。引き続き、平成30年度から3年間を計画期間とした第5期下野市障がい者福祉計画に基づき各種施策に取り組む。						
	担当課	社会福祉課						
	備考							

(エ)誰もが安心して暮らせるまちづくり	<p>地域で助け合い安心して暮らすことのできる地域福祉づくりを推進するため、地域における多様な福祉課題については、社会福祉協議会や民生委員児童委員との連携を図るとともに市民の意識啓発を図ります。また、市民の地域活動の状況や福祉ニーズについて総合的かつ計画的に対応するため地域福祉の充実を図ります。</p> <p>生活困窮者への相談支援や高齢者への適切なサービスの提供、さらに市民全体の健康増進を推進するため、市民ボランティアや関係機関との連携を図り適切な福祉サービスの充実を図ります。</p> <p>国民健康保険や後期高齢者医療においては、特定健診未受診対策など市民の健康維持を推進し、運営の健全化、医療費の適正化に向けた総合的な取り組みを実施します。</p>
---------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
75	民生委員・児童委員の活動件数 (地域社会の実態の把握、相談支援件数)	4,800件	目標値	4,800件	5,000件	5,200件	5,400件	5,500件
		最終目標値	実績値	5,302件	4,632件	5,052件	5,292件	
		5,500件	達成度	A	B	B	B	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>年度目標値には届かなかったが、委員任期3年目を迎え、前年度より見守り件数は増加した。次年度は一斉改選があるが、今後とも民生委員・児童委員としての活動を推進していく。</p>						
担当課	社会福祉課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
76	低所得者への自立に向けた支援(自立促進)数 (就労支援等を行い、就労し自立を図った世帯の数)	5世帯	目標値	7世帯	9世帯	11世帯	13世帯	15世帯
		最終目標値	実績値	11世帯	11世帯	12世帯	14世帯	
		15世帯	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>就労に向けた指導・助言及び就労支援員との連携協力等により、年度内目標を超える実績となった。今後も低所得者等の自立に向け、ハローワーク等の関係機関と連携のもと就労支援等を利活用した取組に努める。</p>						
担当課	社会福祉課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
77	人間ドック受診率 (対象者：30歳～75歳未満)	4.0%	目標値	4.0%	4.2%	4.4%	4.6%	5.0%
		最終目標値	実績値	3.9%	4.0%	4.2%	4.6%	
		5.0%	達成度	B	B	B	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>国民健康保険被保険者の人間ドック助成事業について、市ホームページや広報に掲載し、制度の普及・啓発に努めた。その結果、年度の最終目標値を達成することができた。平成31年度も継続して市ホームページ等で周知を行い、受診率の向上に努める。</p>						
担当課	市民課							
備考								

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
78	特定健康診査受診率 (対象者：40歳～75歳未満)	39.0%	目標値	52.2%	56.1%	60.0%	47.0%	50.0%
		最終目標値	実績値	42.7%	44.7%	45.0% 47.8%	50.8%	
		50.0%	達成度	B	C	C	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成30年度は特定健康診査の受診率向上を目指し、不定期受診者や未経験者（過去に一度も受診していない方）を対象に、栃木県国民健康保険団体連合会が実施主体となる特定健診受診率向上支援事業（勧奨通知の送付等）を実施した。その結果、年度の最終目標値を達成することができた。 平成31年度も継続して特定健診受診率向上支援事業を実施し、受診率の向上に努める。また、平成29年度の実績値が確定したため、47.8%へ修正する。						
担当課	市民課							
	備考	【H30】平成28年度の実績値が確定したため、44.7%へ修正する。 【H30】下野市国民健康保険特定健康診査等実施計画（第3期）との整合性を図るため、平成30年度の目標値を60.0%から47.0%へ、平成31年度の目標値を60.0%から50.0%へ、それぞれ修正する。 【H31】平成29年度の実績値が確定したため、47.8%へ修正する。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
79	地域福祉の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	3	目標値	—	—	—	—	4
		最終目標値	実績値	—	—	—	—	
		4	達成度	—	—	—	—	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	下野市地域福祉計画推進委員会において、第2期市地域福祉活動計画の進捗状況の把握と今後の取り組みについて検討した。						
担当課	社会福祉課							
	備考							

(オ) 将来を担う人づくり	<p>学校・家庭・地域社会が連携し、将来を担う児童生徒の育成と地域に開かれた特色ある教育づくりを推進するため、小中学校の教育においては、学ぶ力・豊かな心・健やかな体を育む創意ある教育活動の展開を進め、英語教育、特別支援教育、情報教育、道徳教育、食育などの更なる充実を図るとともに、学習機器の整備を推進し、教育環境の一層の向上を図ります。</p> <p>学校適正配置については、地元住民との合意形成や学校（保護者）との連携を図りながら、小規模特認校制度の取組の検証、南河内地区における小中一貫教育の推進、通学路等の安全確保と施設環境の改善などの課題に取り組みます。また、学校施設の整備については、学校の適正規模や適正配置を視野に入れつつ、効率的かつ計画的な施設整備を推進します。</p>
---------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
80	学ぶ意欲と自己有用感の評価点 (小学校) (とちぎっ子学習状況調査を評価点化したもの※最高値4.00)	3.20	目標値	3.20	3.21	3.22	3.24	3.25
		最終目標値	実績値	3.20	3.20	3.18	3.23	
		3.25	達成度	A	B	B	B	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組 子どもたちの学ぶ意欲を高めるような学習課題の工夫やICT機器の活用などについての研修の機会を設け、教員の資質向上を図った。多くの学校で、授業改善の視点での校内研修に力を入れた。分かる授業を展開するために、ねらいを明確にした学習指導の工夫・改善について、各校を訪問して指導・助言した。また、道徳科の授業の全面実施に伴い、道徳の授業を要として道徳教育の充実を図ってきた。 目標値には届かなかったものの、5年生は、4年時の3.12から3.24と上昇しており、取組の成果が現れてきているのではないかと考える。今後もさらに授業改善に継続して取り組み、主体的に学ぶ児童が増えるように学校を支援していく。	担当課 学校教育課 備考						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
81	学ぶ意欲と自己有用感の評価点 (中学校) (とちぎっ子学習状況調査を評価点化したもの※最高値4.00)	3.01	目標値	3.01	3.02	3.04	3.07	3.10
		最終目標値	実績値	3.01	3.01	3.02	3.07	
		3.10	達成度	A	B	B	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組 子どもたちの学ぶ意欲を高めるような学習課題の工夫やICT機器の活用などについての研修の機会を設け、教員の資質向上を図った。多くの学校で、授業改善の視点での校内研修に力を入れた。分かる授業を展開するために、ねらいを明確にした学習指導の工夫・改善について、各校を訪問して指導・助言した。また、中学校区ごとに「子ども未来プロジェクト」や小学校との交流学習を計画し、中学生がリーダーシップを発揮できる場を設けてきた。 平成30年度は前年度より0.05ポイント上昇し、目標値に達した。今後も上記の内容を継続するとともに、今年度から実施となる道徳科の授業の充実を図っていく。	担当課 学校教育課 備考						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
82	小中学校の教育の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1~5の数値で数値化したもの)	4	目標値	—	—	—	—	5
		最終目標値	実績値	—	—	—	—	
		5	達成度	—	—	—	—	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組 下野市学校教育目標の実現のために、義務教育9年間を通じた系統的な指導を充実させる小中一貫教育が推進できるよう、基本的な考え方や方策をまとめた「下野市小中一貫教育推進ハンドブック」を作成した。また各中学校区毎に「目指す子ども像」を設定し、到達目標、設置部会、推進体制等を示した「グランドデザイン」を作成した。また年間6回程度「小中一貫の日」を設定し、全市的に小中一貫教育の実践研修を進めた。 今後は、各中学校区の特徴として共通に取り組む「実践研究課題」を掲げ、年間指導計画等の整備や指導法についての共通理解など、具体的な取組をしていく。また学校運営協議会を活用し、地域への発信等、地域とともにある学校を目指していく。	担当課 学校教育課 備考						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
83	小中学校校舎への空調設備設置数	—	目標値	12校	4校 (計16校)	—	—	—
		最終目標値	実績値	12校	4校 (計16校)	—	—	
		16校	達成度	A	A (達成)	達成済	達成済	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成28年度で全小中学校16校への空調設備設置が完了し、目標は達成済みである。						
担当課	教育総務課							
備考								

(カ) 生涯にわたり学べる機会づくり	市民の自己の実現と交流、学びを生かす環境づくりを推進するため、多様な学習機会を通じた市民の自己実現と交流、学習成果の社会還元による協働のまちづくりを支援し、生涯学習による下野市の文化づくりを推進します。 公民館では、家庭教育等ライフステージに応じた多様な学習やまちづくりに関する学習を提供し、市民の社会参加意識の高揚を図ります。図書館では、さまざまな資料や情報、学習機会の提供により市民の学習活動の支援を行います。生涯学習情報センターでは、「Youがおネット」の運営や市民活動の支援を通して、学びを生かした市民によるまちづくりを推進します。さらに、ふれあい学習・ファミリーエ下野市民運動等の学校・家庭・地域社会の連携による子どもの健全育成を推進します。
--------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
84	講座・講演会の年間受講者数 <small>(生涯学習文化G/生涯学習情報センター・公民館・図書館主催講座の年間受講者数)</small>	8,242人	目標値	8,242人	8,300人	8,400人	8,500人	8,600人
		最終目標値	実績値	8,421人	8,574人	9,491人	9,350人	
		8,600人	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>総体的には受講者数は増加している。 生涯学習文化課主催講座の人権教育講演会の受講者が前年比1.9倍、市民人権講座、家庭教育学級の受講者が共に1.4倍となった。公民館講座の受講者数も伸びている。 今後も魅力ある講演会、受講者のニーズや社会情勢に即した講座を開催するとともに、学習成果を地域づくりに活かせるような支援を行っていく。あわせて広報活動に努めていく。</p>						
担当課	生涯学習文化課							
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
85	図書館の市民1人当たりの年間貸出冊数	6.23冊	目標値	6.3冊	6.4冊	6.6冊	6.7冊	6.9冊
		最終目標値	実績値	6.33冊	6.1冊	5.7冊	5.8冊	
		6.9冊	達成度	A	B	B	B	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>昨年度より若干ではあるが貸出冊数が増加した。 利用者のニーズに沿った資料の充実を図ると共に、イベントや広報を通して図書館を広くPRすることにより、貸出冊数・利用者数の増加に努めたい。</p>						
担当課	生涯学習文化課							
	備考	【H28】目標値7.23冊から6.9冊へ修正（図書館基本計画との整合性を図るため）。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
86	公民館の利用者数 <small>(公民館の年間利用者数)</small>	14万7千人	目標値	14万7千人	14万8,800人	15万600人	13万5,000人	13万5,000人
		最終目標値	実績値	15万4,842人	13万5,560人	11万2,420人	10万3,291人	
		13万5,000人	達成度	A	B	C	C	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>平成30年度は、南河内公民館の大規模改修工事により、6～12月の7か月間休館となり、講座の実施を南河内図書館を中心に国分寺公民館等他施設に移したため、南河内公民館の利用者数は大幅な減少となった。しかし、自主サークル等の利用団体へは他3館の利用促進を図り、他3館の利用者数は増えた。また、以前より利用されていた各種団体が新庁舎において総会等(文化協会、育成会等)を開催したり、南河内公民館の大規模改修工事により新設の薬師寺コミュニティセンターの利用が促進されたことから、利用者数の減少となった。なお、全館とも近年の高齢化による自主サークル数の減少により全体の利用者数が減少した。 今後は、受講者のニーズや時宜を得た講座等になるよう質量ともに企画を工夫するとともに、自主サークル等の活動支援・育成を行い、幅広い層の利用者数の増加を図る。 また、各館とも計画的な改修・修繕により、生涯学習実施機関として学習環境の整備をしていく。</p>						
担当課	生涯学習文化課							
	備考	【H28】目標値を15万6千人から15万4,200人へ修正（総合計画との整合性を図るため）。 【H30】新庁舎使用による利用者数の減少を考慮し、目標値を15万4,200人から13万5,000人に修正。						

(キ)市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり	市民がスポーツに親しみ、遊び、楽しむことができる環境づくりを推進するため、全ての市民が生涯にわたってスポーツを“楽しむ”、スポーツを通して“つながる”、スポーツに“熱くなる”取組を進め、市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ活動の充実を図ります。 また、安全・安心で快適なスポーツ環境の整備に取り組むため、耐震診断に基づく改修や施設の修繕を行うとともに、市民が集い、多種目のスポーツ・レクリエーション活動の拠点となる総合的な運動公園として大松山運動公園の整備を推進します。
----------------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
87	スポーツ活動の実施率 (成人の週1回以上のスポーツ活動の実施率)	51.7%	目標値	—	—	—	—	53.0%
		最終目標値	実績値	—	—	—	—	
		53.0%	達成度	—	—	—	—	
	平成30年度の実績と実績値の分析及び今後の取組		平成30年度についても下野市スポーツ推進計画に基づき、スポーツ活動の実施率向上の取組を行っている。詳細な実績値の調査はスポーツ推進計画の中間年(令和2年)に市民アンケート調査を行う計画である。今後もスポーツ推進計画に基づいた取組を推進していく考えである。					
担当課		スポーツ振興課						
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
88	スポーツ施設の利用者数 (スポーツ施設の年間利用者数)	62万1千人	目標値	62万5千人	63万人	63万5千人	63万7千人	64万人
		最終目標値	実績値	64万7千人	63万7千人	56万4千人	63万7千人	
		64万人	達成度	A	A	B	A	
	平成30年度の実績と実績値の分析及び今後の取組		国分寺B&G海洋センター、南河内東体育館の改修により利用者が増となった。今後も老朽化した施設を計画的に改修し、利用しやすい体制を維持していく予定である。					
担当課		スポーツ振興課						
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
89	大松山運動公園の整備	—	目標値	—	—	—	整備	開園
		最終目標値	実績値	—	・用地取得完了 地権者34名 61,673.35㎡ ・造成撤去工事	・陸上競技場管理棟整備 ・多目的グラウンド整備 ・造成工事 ・下水道工事 ・伐採移植工事	・陸上競技場管理棟整備 ・駐車場整備 ・トイレ、遊具設置等	
		開園	達成度	—	—	—	—	
	平成30年度の実績と実績値の分析及び今後の取組		平成30年度に陸上競技場・管理棟整備の他、駐車場やトイレ、遊具等の整備工事を実施し、年度内に整備を完成させた。5月に開園し、今年度、最終目標値を達成した。					
担当課		スポーツ振興課						
備考		【H30】整備が順調に進んでおり、平成31年5月の開園を目指す予定のため、目標値を「整備」から「開園」へ修正する。						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
90	耐震補強に取り組む 体育施設数	—	目標値	1施設 (延1施設)	2施設 (延3施設)	1施設 (延4施設)	1施設 (延5施設)	1施設 (延6施設)
		最終目標値	実績値	1施設 (延1施設)	2施設 (延3施設)	1施設 (延4施設)	0施設 (延4施設)	
		6施設	達成度	A	A	A	B	
	平成30年度の取組と実績値 の分析及び今後の取組	平成26年度に下野市体育施設改修計画を作成し、平成30年度は1施設の設計業務委託を実施した。平成31年度に工事に取り組む予定である。						
担当課	スポーツ振興課							
備考								

(ク)文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり	<p>文化的に豊かな市民生活を送ることができる環境づくりを推進するため、文化協会などの文化団体の活動を支援し、市民の文化芸術活動を推進します。グリムの館の効率的な管理運営と利活用の充実を図るとともに、市民ニーズ等を勘案し、文化芸術施設の整備について検討を進めます。文化遺産は、古から未来へつなぐ本市の重要な宝であり、引き続き整備を推進するとともに、甲塚古墳出土埴輪等の重要文化財指定に向けた作業を進め、展示収蔵施設とするしもつけ風土記の丘資料館の改修整備を進めます。また、地域間交流においては国内の様々な分野において交流を推進するとともに、国際交流や多文化共生の相互理解を一層推進するため国際感覚豊かな人材を育成します。</p>
---------------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
91	グリムの森・グリムの館の来園者数 (グリムの森・グリムの館の年間来園者数)	9万人	目標値	9万300人	9万600人	9万1千人	9万1,300人	9万1,800人
		最終目標値	実績値	11万4,281人	12万3,744人	13万8,119人	15万7,523人	
		9万1,800人	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>指定管理者（一財）グリムの里いしばしによる管理運営が、効率的かつ安定的に継続している。新設された便益施設「お菓子の家」については、各関連機関と連携してPRを行い利用者の増加を図った。 ボランティア活動用に改修した進入路は安全かつ効果的に機能を果たしており、ボランティア活動の活発化に寄与している。 グリムの館が築23年を経過していることから安全で効率的な利用が出来るよう建物診断や調査を実施し、改善保全計画の策定をする。</p>						
担当課	生涯学習文化課							
	備考	【H28】目標値9万2千人から9万1,800人へ修正（総合計画との整合性を図るため）。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
92	下野薬師寺歴史館・しもつけ風土記の丘資料館ボランティア会員数	40人	目標値	42人	44人	46人	48人	50人
		最終目標値	実績値	42人	53人	77人	75人	
		50人	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>平成29年度に引き続き、市内の文化財ガイドの養成を目的として「文化財観覧ガイド養成講座」を実施した（全6回延べ受講者数304名）。 平成31年度も引き続き講座を開催するとともに、登録したボランティアのスキルアップに向けた支援を実施していく。</p>						
担当課	文化財課							
	備考	【H28】下野薬師寺歴史館に加え、しもつけ風土記の丘資料館を追記。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
93	国内交流協会会員数	64人	目標値	65人	65人	66人	66人	67人
		最終目標値	実績値	68人	70人	74人	72人	
		67人	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>協会活動のほか、会員の獲得に向けてPR等を行った。今後も協会活動のPRを進めていく。</p>						
担当課	市民協働推進課							
	備考							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
94	国際交流協会会員数	375人	目標値	378人	381人	384人	387人	390人
		最終目標値	実績値	380人	380人	386人	426人	
		390人	達成度	A	B	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	協会で開催している日本語教室を受講する在住外国人の加入増加に伴い、会員数が増加した。引き続き、市のイベント等で協会活動のPRを行う。						
担当課	市民協働推進課							
		備考						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
95	国指定史跡地の整備進捗率 (国指定史跡の公有化率)	61.50%	目標値	—	—	—	—	63.0%
		最終目標値	実績値	63.1%	65.5%	65.5%	65.5%	
		63.0%	達成度	—	—	—	—	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成30年度は史跡の保存整備工事、実施設計、整備の基礎資料を得るための発掘調査を実施した。公有化は実施していない。 下野薬師寺跡では、再建塔地区の整備工事を行い、公有化した東側指定地の造成工事・幢竿の復元工事を実施。下野国分寺跡では、平成27年度に公有化した指定地（西側の一部）の整備を行うための実施設計を実施。下野国分尼寺跡では、整備の基礎資料を得るために、公有化が完了した北側指定地の発掘調査を実施した。 平成31年度も継続して整備工事を行い、史跡の保存整備を推進していく。						
担当課	文化財課							
		備考						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
96	しもつけ風土記の丘資料館 入館者数 (「しもつけ風土記の丘資料館」の年間入館者数)	1万5千人	目標値	1万6千人	1万7千人	1万8千5百人	1万7千5百人	1万8千人
		最終目標値	実績値	1万8千671人	1万9千人	2万1千121人	2万1千927人	
		1万8千人	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	年間を通じて約2,200名の県内の小学生が歴史学習として来館。一般見学者の来館は花まつり期間中に集中している。また、平成30年度は新たに「しもつけ歴史学講座」を開催した（全3回、延べ受講者数110名）。 平成31年度も引き続き「しもつけ歴史学講座」を開催し来館者増を目指す。						
担当課	文化財課							
		備考						

(ケ) 安全・安心な生活環境づくり	<p>市民が安心できる生活環境づくりを推進するため、消防・防災対策では、自主防災組織を設置するなど市民・地域・行政が連携強化を図るとともに、災害時に迅速かつ適切な応急対策を行うために消防署・消防団の充実を図ります。</p> <p>防犯対策では、引き続き警察や関係団体と連携した防犯活動を推進します。また、空き家対策では「空き家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、特定空き家等の所有者に対し適正に管理を行うよう指導等を行います。</p> <p>消費者行政では、消費生活センターにおける相談事業を中心に、消費者団体や事業者と連携を図りながら消費者情報を広く発信し、被害の未然防止や早期解決に向け取り組みます。</p> <p>交通安全対策では、交通指導員の適正な配置、自転車の正しい乗り方などの交通安全教育・啓発事業を実施するほか、カーブミラーや標識などの交通安全施設の整備を図ります。</p>
-------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
97	自主防災組織設置数	8組織	目標値	8組織	10組織	12組織	14組織	15組織
		最終目標値	実績値	8組織	8組織	8組織	8組織	
		15組織	達成度	A	B	C	C	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>自主防災組織未設置地区（国分寺地区）の自治会長を集め、設立に向けた説明会を実施したが設立には結びつかなかった。</p> <p>今後も、未設置の自治会に対して啓発活動を継続して行っていく。</p>						
	担当課	安全安心課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
98	消費生活に伴う相談及び問い合わせ件数 <small>(消費生活センターの年間相談件数)</small>	280件	目標値	280件	285件	290件	295件	300件
		最終目標値	実績値	272件	265件	360件	444件	
		300件	達成度	B	B	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>消費生活センターにおいて、平日午前9時から午後5時まで相談業務を行っている。架空請求ハガキ（料金未納による最終催告）が届いたといった相談が急増しており、相談件数が右肩上がりとなっている。</p> <p>今後も継続して消費生活情報を収集し、必要に応じて情報提供を実施していく。</p>						
	担当課	安全安心課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
99	防犯の取組の満足度 <small>(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)</small>	3	目標値	—	—	—	—	4
		最終目標値	実績値	—	—	—	—	
		4	達成度	—	—	—	—	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>平成27年度に市内防犯灯をLED防犯灯に変更するESCO事業を行い、防犯体制の充実を図った。さらに街頭防犯カメラ設置補助事業については、年々周知が図られ、平成30年度は12件の設置があり、防犯環境の構築に寄与した。警察署や地元協力団体と協力して防犯の啓発を推進した。</p>						
	担当課	安全安心課						
	備考							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
100	消費者保護の取組の満足度	3	目標値	—	—	—	—	4
		最終目標値	実績値	—	—	—	—	
	(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	4	達成度	—	—	—	—	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	消費生活センターにおいて、平日午前9時から午後5時まで相談業務を行っている。今後も定期的に県の相談員と情報交換を行っていくほか、消費者被害防止啓発活動、市内小中学校で消費者教育の普及活動を実施していく。						
担当課	安全安心課							
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
101	交通安全対策の取組の満足度	3	目標値	—	—	—	—	4
		最終目標値	実績値	—	—	—	—	
	(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	4	達成度	—	—	—	—	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	下野警察署、交通安全協会等、関係団体と共に、各期ごとの交通安全運動を実施し、高齢者と子どもの交通事故防止、更にマナーアップ向上を目的とした広報啓発活動を展開した。						
担当課	安全安心課							
	備考							

(コ) 快適に暮らせる環境づくり	<p>市民が安心して暮らすことができる快適な生活環境づくりを推進するため、デマンドバスの利用率向上を目指し運行形態を見直すとともに、広域市町との連携した交通ネットワークの構築を目指します。</p> <p>また、小山広域保健衛生組合を中心としたごみ処理の広域事業を推進し、市内統一したごみ処理と分別・リサイクルの徹底によるごみ減量化を推進します。</p> <p>環境行政については、下野市環境基本条例及び基本計画に基づき、しもつけ環境市民会議などによる、市民、企業、行政がそれぞれの特質を活かした協働による環境保全や環境創出事業を推進します。</p>
------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
102	市民1人1日あたりの資源物以外のごみ排出量 (ごみ排出量の目標値)	527 g/人/日	目標値	522 g/人/日	518 g/人/日	513 g/人/日	509 g/人/日	504 g/人/日
		最終目標値	実績値	549 g/人/日	479 g/人/日	496 g/人/日	508 g/人/日	
		504 g/人/日	達成度	B	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>平成28年度から目標値は達成しているものの、排出量は増加傾向であり、また、資源ごみ排出量は減少している。焼却ごみの中にプラ容器包装など資源ごみの混入が見られ、排出量増加理由のひとつとして考えられるため、広報紙や市ホームページ、アプリなどにより、分別徹底について周知を行った。また、平成31年4月のリサイクルセンター稼働開始に伴い分別方法を変更したため、自治会を対象とした説明会を開催し周知を図った。</p> <p>今後も、広報紙やホームページ、イベントなどによりごみ減量化に向けたPRを行っていく。</p>						
担当課	環境課							
	備考	【H28】目標値500 g/人/日から504 g/人/日へ修正（環境基本計画との整合性を図るため）。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
103	市民と企業・行政の協働による環境保全活動の実施 (下野市環境基本計画協働プロジェクト実施数)	1事業	目標値	2事業	2事業	61事業	47事業	47事業
		最終目標値	実績値	2事業	2事業	44事業	30事業	
		47事業	達成度	A	A	C	C	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>環境基本計画の第3編に記載されている協働プロジェクト47項目のうち、30項目の市民参加型の事業を実施した。主なものとしては、しもつけ環境市民会議と環境課との協働プロジェクトとして「しもつけ環境フェア」を開催した。次年度においても、しもつけ環境市民会議と連携し、また関係各課と連携しながら協働プロジェクトを実施していく。</p>						
担当課	環境課							
	備考	【H30】環境基本計画の見直しの中で平成25年度～平成29年度の計画事業数を61事業へ、平成30年度からの目標値を4事業から47事業へ上方修正。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
104	公共交通の整備の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	3	目標値	—	—	—	—	4
		最終目標値	実績値	—	—	—	—	
		4	達成度	—	—	—	—	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>平成28年度からの5か年計画の下野市地域公共交通総合連携計画に基づきデマンドバスの運行を実施している。これにより、高齢者等の交通弱者や子育て世帯など、誰もが快適に移動できる交通環境の整備を進め、地域公共交通事業の推進を図ってきた。今後はデマンドバスを含めた公共交通システムの検討を行い、まちづくりと一体となった持続可能な地域公共交通ネットワークを再構築するため、新たに平成31年度中に下野市地域公共交通網形成計画の素案を策定する。</p>						
担当課	安全安心課							
	備考							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
105	環境対策の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1~5の数値で数値化したもの)	4	目標値	—	—	—	—	5
		最終目標値	実績値	—	—	—	—	
		5	達成度	—	—	—	—	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		下野市環境基本計画推進委員会部会を設置し、部会を中心に環境対策事業の実施状況や必要な事項の調査、とりまとめを行った。次年度も30年度の実績を踏まえ、環境対策を推進していく。					
担当課		環境課						
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
106	公害対策の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1~5の数値で数値化したもの)	4	目標値	—	—	—	—	5
		最終目標値	実績値	—	—	—	—	
		5	達成度	—	—	—	—	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		下野市環境基本計画に基づき公害対策を実施した。今後も同様に公害対策を実施していく。					
担当課		環境課						
備考								

(サ) 協働のまちづくりの体制づくり	下野市自治基本条例に基づく協働のまちづくりを推進するため、市民、NPO、企業等の多彩な担い手によるまちづくりと連携し、市民が主体となった地域づくり活動に対する支援の充実を図ります。 また、調和のとれた豊かな社会を実現するための人権意識啓発を推進するとともに、男女共同参画社会の実現に向けた取組を推進します。
--------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
107	市民活動補助事業の団体数 (審査会を通過する年間団体数)	10団体	目標値	11団体	11団体	12団体	12団体	13団体
		最終目標値	実績値	11団体	19団体	15団体	15団体	
		13団体	達成度	A	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	引き続き制度の周知をはかり、最終目標の達成を目指します。 【平成30年度内訳】 継続11団体 新規4団体						
	担当課	市民協働推進課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
108	人権教育講演会の受講者数	100名	目標値	100名	110名	120名	130名	140名
		最終目標値	実績値	20名	300名	120名	230名	
		140名	達成度	D	A	A	A	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成30年度は、広報先の拡大に努め、開催チラシ・ポスターを銀行やスーパー、書店など市内の商業施設に掲示、配布したことに加え、講師の選定が功を奏したものと料する。今年度も広報周知活動や講師選定に注力するとともに、社会問題等、時宜を得た市民の関心の高いテーマを企画するなど、受講者数の増加に努める。						
	担当課	生涯学習文化課						
	備考	【H28】 目標値150名から140名へ修正（総合計画との整合性を図るため）。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
109	社会全体で「男女平等である」と回答する人の割合 (男女共同参画プラン策定時アンケート調査において実施)	12.2%	目標値	—	—	—	—	18.0%
		最終目標値	実績値	—	—	—	—	
		18.0%	達成度	—	—	—	—	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成31年度（9月）に市民アンケート調査を実施予定（プランの改訂にあわせて）						
	担当課	市民協働推進課						
	備考							

(シ) 健全な行財政運営の仕組づくり	行政運営の効率化による健全財政のまちづくりの推進のため、引き続き行財政の計画的・効率的な運営を図るとともに、公共施設の計画的・効率的な管理運営・利活用を推進し、財政負担を考慮した施設の再配置計画に取り組みます。また、市民と行政の情報共有をより一層推進するため、積極的な情報発信に取り組むとともに、単独市町では実施が難しい事業等については、周辺市町と連携した取組を推進し、広域的な住民サービスの充実を図ります。
--------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値						
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	
110	公共施設等総合管理計画 策定 (公共施設マネジメント基本 方針等の策定)	—	目標値	—	策定	—	—	—	
		最終目標値	実績値	—	策定	—	—		
		策定	達成度	—	A (達成)	達成済	達成済		
	平成30年度の取組と実績値 の分析及び今後の取組	平成29年3月に公共施設等総合管理計画を策定し、目標値に関しては達成した。平成30年度は、この公共施設等総合管理計画に基づき、インフラ施設を除く公共施設毎の具体的な管理方針を定める個別施設計画を策定した(平成31年1月策定)。今後、令和2年度までに、インフラ施設の個別施設計画の策定を各担当課において推進する。							
担当課	総合政策課								
		備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値						
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	
111	市ホームページアクセス数 (市ホームページの年間アク セス数)	110万件	目標値	112万件	114万件	116万件	104万件	106万件	
		最終目標値	実績値	124万件	129万件	106万件	108万件		
		106万件	達成度	A	A	B	A		
	平成30年度の取組と実績値 の分析及び今後の取組	常に最新の情報に更新し、利用者にとって必要な情報を継続的に提供できるように取り組んだ。イベント情報をはじめとした多くの人に伝えたいお知らせをトップページに新着情報として掲載し、利用者の目に留まりやすくすることで情報を広く発信することができた。平成31年度も引き続きイベント情報の充実を計り、より必要とされるホームページになるように更新していく。							
担当課	総合政策課								
		備考	【H30】国の指導に基づくネットワーク強靱化による影響を加味し、目標値を120万件から106万件に修正。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値						
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	
112	共同連携事業数 (広域連携事業の事業数)	21事業	目標値	21事業	22事業	64事業	65事業	66事業	
		最終目標値	実績値	21事業	62事業	66事業	71事業		
		66事業	達成度	A	A	A	A		
	平成30年度の取組と実績値 の分析及び今後の取組	小山地区定住自立圏における小山市との連携事業として、小山地区定住自立圏共生ビジョンで掲げた41事業に取り組み、年2回の情報交換会において、事業ごとに設定した成果指標の達成度等についての確認を実施した。下野市・上三川町・壬生町連携会議では、「新たな人の流れを生み出す1市2町連携プロジェクト事業」として、引き続き、連携婚活バスツアーを3回実施した。その他、県及び県内25市町の連携による「ツール・ド・とちぎ事業」、下都賀地区における「広域連携による観光振興事業」、下野市・上三川町・壬生町による「しもつけ古墳群整備・活用事業」「1市2町広域連携バス実証運行の検討」を実施した。今後も、連携による事業の効率化・サービスの充実等を図り、定住促進・地域活性化につなげる。							
担当課	総合政策課								
		備考	【H29】目標値23事業から66事業へ修正(小山地区定住自立圏における広域連携事業を加えたため)。						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
113	他市町との連携の取組の満足度	3	目標値	—	—	—	—	4
	(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	最終目標値	実績値	—	—	—	—	
		4	達成度	—	—	—	—	
	平成30年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>小山地区定住自立圏共生ビジョンで設定された令和2年度を目標とする成果指標において、平成30年度では、41事業のうち18事業が達成することができた。今後についても、目標値の達成に向けて取り組むこととし、中心市である小山市との連携事業の展開により地域のサービス等を充実させ、満足度の向上を図る。</p>						
担当課	総合政策課							
備考								